

きらめき



長期にわたる臨時休業を終え、いよいよ学校再開となりました。ただ、依然として新型コロナウイルスの脅威がなくなったわけではありません。それぞれができる感染症対策を徹底した上で、気持ち新たに学校生活をスタートさせていきましょう。

みなさんが2年生になってから、もうすぐ2か月です。2年生は学校の中堅と言われ、2年生の行動が野々市中学校を「地域に誇れる学校」にするかどうかを大きく左右します。改めて、「自分たちが地域に誇れる学校を創り上げるんだ」という気持ちをもって、学校生活に臨みましょう。みなさんの活躍を楽しみにしていますよ。

これから自分の力を伸ばそうと頑張るみなさんに、2人の言葉を紹介します。

大手電気機器メーカーである京セラや電気通信事業者であるKDDIなどを創業した稲森和夫さん。大手企業を築き上げ、ボランティアで経営者の育成も行っている方です。



**今日の成果は過去の努力の結果であり、
未来はこれからの努力で決まる**

プロサッカー選手の本田圭佑さん。大阪出身で、所属していたチームで力不足と判断され昇格できず、石川県の星稜高校へ入学しました。目標をもって努力を続け、小学校の卒業文集で書いた「セリエAに入団し10番で活躍する」という夢の一つを叶えました。

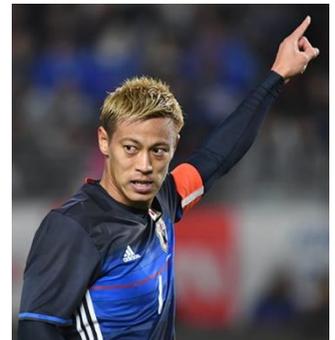
**努力が人よりも続けられる人は必ず成功する。そして
努力の方法が分かってる人は大きく成功できる。**

理由は簡単で

ほとんどの人が努力を続けられへんから。

そして努力を続けられへんのは、

目的がないか、目的を見失ってるから。



過ぎた時間は戻ってきません。今何をするべきか、何ができるかをそれぞれが考え、行動に移していきたいですね。

長い休校の間、どんなことを考えていましたか？



感染が広がるにつれて恐怖を感じたという人、離れて暮らしている家族が感染したら…と心配だった人もいれば、家族と過ごす時間が増えてうれしい！という人もいたと思います。時間を上手に使う難しさを感じた人も多かったようですね。仲間の作文から一部抜粋をして紹介します。ふだんなら考えないこと、気づかないことを意識したこの期間も、みなさんの成長の素になるはずですよ。



僕は、外出自粛が始まって、友達と遊ぶことの楽しさを改めて感じました。元々毎週遊ぶほど外に出ていないけど、いざ制限されると、なぜか遊びたくなったので、改めて今までの暮らしがどれほど不自由なく過ごせていたか実感しました。親の仕事が在宅勤務できる仕事ではなく、前と変わらず仕事していたので皆が皆、家にいるわけでもなく、結局、家で僕が何をしていったって誰かが働いているのだなあと思いました。病院で働いている人たちはもちろん、そのほかの仕事にも感謝しようと思えました。たとえ、収束したとしても、仕事をする・働くということは生活上欠かせない事を頭に置き感謝をしていきたいです。

僕がこの休校中で考えたことは“長い時間をどう使うか”ということでした。最初の頃は少し運動をしたり、新しく買ったゲームをしたりしていました。規則正しい生活をし、十二時までには寝ていました。ゴールデンウィークあたりでは数日に一度ランニングをしました。しかし、筋トレはあまりしなくなり、ゲームの方が長くなりました。寝る時間もどんどん遅くなりました。休校の終盤では、するゲームもなくなり、何もすることなく、一日が終わっていきました。体も動かしていないので全く寝られずに深夜までずっと起きていました。だからこの時間をどう使うべきかずっと考えていました。休校中では、ただダラダラと時間を過ごしてしまいました。だから、これからの時間は意味のある、ちゃんとした時間を過ごしていきたいです。

休校中に、初めて早く学校に行きたいと思った。家にいても外に出ることもできないし、やることもないから暇だった。妹と2人で勉強したり、ゲームしたりすることができたから、よかったこともあった。

～お願い～

- ①登校前、自宅で必ず検温してきてください。
- ②登校時、マスクの着用を徹底してください。
(※マスクはメインバックに予備を必ず1枚入れておくこと！)
- ③登校後、手洗いをしてから教室へ。

